

地域の食育活動の活性化に向けて ～石巻地域食育推進連絡会議の取組～

東部保健福祉事務所 成人・高齢班
技師 野澤礼子

これからの食育推進の進め方

食育推進の目的

健康で文化的な国民の生活

豊かで活力ある社会

食育基本法第1条

食育推進活動の実践

国民の食に関する理解を深める

体験

体験

体験

実践

食育基本法第6条

食育推進に必要な事項

多様な関係者の連携・協力の強化

第二次食育推進基本計画第4

石巻地域の食の現状

- 復興は進むものの実感には至っていない
- 農水産業の被害→魚の町なのに「魚離れ」
- 環境変化、心理的要因による生活習慣の悪化

市町を超えたネットワークづくりの重要性



関係者の連携づくりを目的とした事業

食育推進連絡会議

- 各保健福祉事務所で実施（年1回程度）
- 圏域の特性を踏まえた会議の開催（参集者・内容）



これまでの食育推進連絡会議

【議題】

- 1 平成〇〇度報告
- 2 平成△△度事業について
 - (1) 第2期宮城県食育推進プランの重点施策について
 - (2) 各事務所の取組について
 - (3) □□事業について
- 3 その他 情報交換

事務局→参加者へ
の“一方通行”

【課題】 “顔の見える連携づくり”につながっている？

“顔の見える連携”を目指して

【会議の達成目標】

- ①参加者同士が顔見知りになる
- ②参加者の活動の「いいところ」と「課題(ニーズ)」を共有する
- ③必要な情報の発信(連携のきっかけづくり)

ポイント

- 1 **双方向の意見交換**を重視 ⇒①、②
- 2 **楽しく意見交換**ができる**雰囲気づくり** ⇒①、②
- 3 食育活動に関する**ニーズのマッチング** ⇒③

参加者には「連携先」を
手みやげに帰ってもらおう！！



今年度の実施内容

【事前準備】

食育活動の「課題」と「協力がほしい人・団体」を照会

→ニーズが合う人同士を同じグループに！ ←(ポイント3)ニーズのマッチング

【議題】

- 1 説明 グループワークの進め方
- 2 グループワーク ←(ポイント1)双方向の意見交換
 - (1)アイスブレイク ←(ポイント2)楽しい雰囲気づくり
 - (2)情報共有 食育の取組のうまくいった点について
 - (3)検 討 さらに食育を推進していくために「あったらいいな」と思う取組
- 3 全体協議 ～食育活動のマッチング ←(ポイント3)ニーズのマッチング

実施結果①

参加者が連携づくりに積極的になった

グループワーク

「あったらいいなと思う取組」

➤ 連携システム

(例)

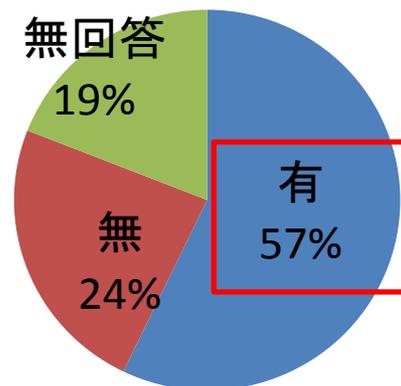
- 食育推進連絡会議の開催回数をもっと増やし、各団体の連携を図れるようにしてほしい。
- 他の機関との連携が簡単にできるようなシステム。

県に対する参加者の期待

アンケート結果

「会議に参加してほしい人・団体」

N=21



➤ 有の内容

- 事業所、商工会、スーパー、物産協会等
- PTA、幼稚園・学校の保護者、小中学校の教員

実施結果②

食育活動の連携のきっかけとなった

【ニーズ】

例1 (幼稚園)
農業のアドバイスがほしい

例2 (女川町)
町内に農協が無い

例3 (東松島市)
市の連携会議が未設置



【結果】

(石巻農協・県農業振興部)
指導者の派遣可能！！

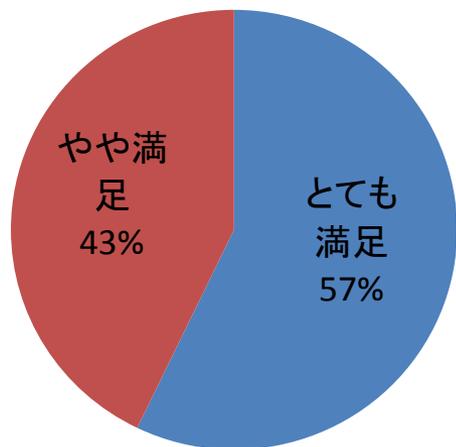
(石巻農協)
女川町とつながりたかった！

関係者が顔見知りとなり、市の
連携体制構築のきっかけに！

実施結果③

参加者の満足度が高かった

N=21



○自由記載意見○

- ・つながりを持てる良い機会でした。
(教育分野)
- ・食育に携わる人との交流ができ、
いろいろ収穫になりました。また参加
したい。(健康分野)
- ・次回にはもっともっと話せるようにします。
(産業分野)

**参加者の潜在的なニーズに
対応できた！！**

取組のまとめ

課題

“顔の見える連携づくり”につながる会議の持ち方とは

工夫点

- ① 双方向の意見交換を重視
- ② 楽しく意見交換ができる雰囲気づくり
- ③ 食育活動に関するニーズのマッチング

結果

- ①参加者が“連携づくり”に積極的になった
- ②各機関の具体的な連携につながった
- ③参加者の満足度が高かった

まとめ

“顔の見える連携づくり”につながる会議の持ち方とは

- ①双方向の意見交換を重視すること
- ②参加者にとって具体的なメリットが得られること

を念頭においた進め方を工夫すること！！

今後の会議の方向性

- 1 関係者の広域的な情報共有の場として、定期的を実施
- 2 今回できた“関係者のつながり”が具体的な活動につながった事例を共有

相互連携の促進

相互理解の促進

連携のメリットの共有

さらなるネットワークの強化

終わりに・・・

～国としての今後の取組方針～

「食べる喜び、作る喜び、食を通じて豊かな人間関係が広がっていくといった**食の楽しさ**をもっと伝えていく必要がある」

(食育推進評価専門委員会「審議経過報告書」H21.8.24)

まずは関係者が楽しんで**“連携の輪”**を広げ
健康、産業、教育分野の協働によって
石巻地域の**“食”**を盛り上げていきたい

